

## 今週のコメント

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は0.59で、過去5年平均値(0.52)をやや上回るものの、第11週以降、減少傾向にあります。
- ・ 麻疹の報告が1例あり、本年の累積報告数は12例となっています。12例の内訳は、男性8例、女性4例です。年齢階級別では、15～19歳が4例で最も多く、次いで5～9歳、25～29歳、30歳以上の各2例の順となっています。第6週から第13週の報告です。

## 今週のトピックス:&lt;百日咳&gt;

- ・ 今週の報告は1例(10～14歳)です。本年の累積報告数は13例となっており、平成12年から19年の同時期までと比較して最も多くなっています。全国でも同様の傾向です。詳細はトピックスに掲載しています。

## 発生状況

## 全数報告の感染症

(性別、年齢、症状、推定感染地域、推定感染経路の順に掲載。ただし、結核は除く。)

- ・ 二類:結核 3例(喀痰塗抹陽性 1例、無症状病原体保有者 なし)  
【1月以降の累積報告数 78例(喀痰塗抹陽性 23例、無症状病原体保有者 7例)】
- ・ 五類:後天性免疫不全症候群(無症候性キャリア) 1例
- ・ 五類:麻疹 1例(第13週追加分)

## 定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68、小児科定点41、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.24	16
小児科 (降順5位まで)	感染性胃腸炎	6.37	261
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	24
	水痘	0.59	24
	流行性耳下腺炎	0.32	13
	手足口病	0.22	9
	突発性発しん	0.22	9
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

## 病原体情報

ありません。

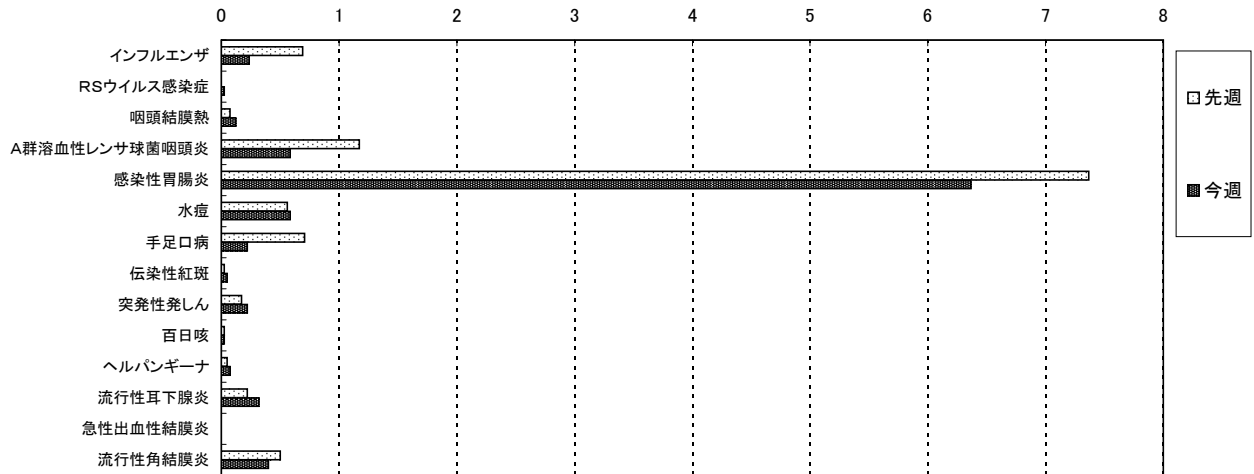
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:&lt;百日咳&gt;

(注)京都市のデータは、平成20年4月14日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

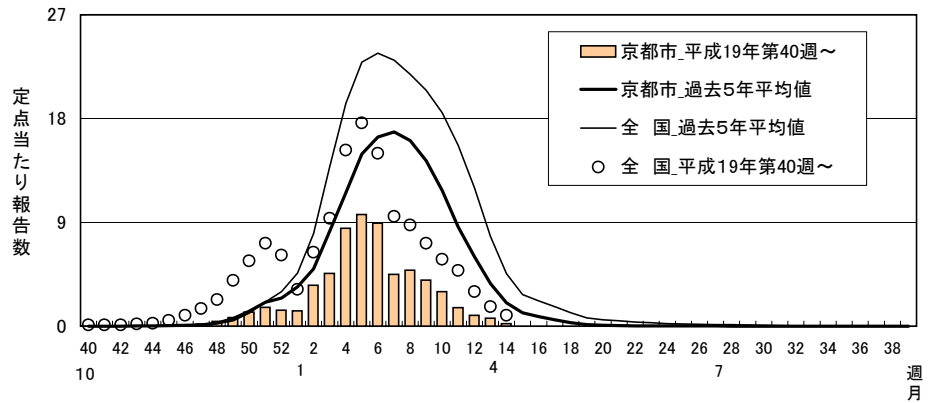
# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第14週)と先週(第13週)の定点当たり報告数の比較



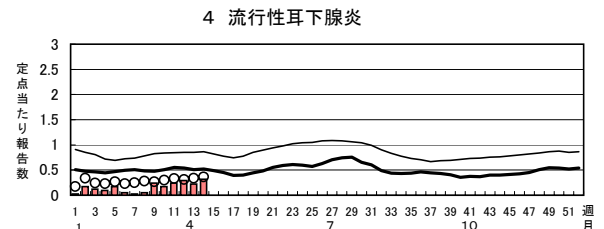
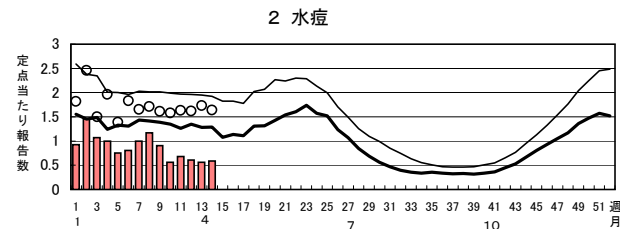
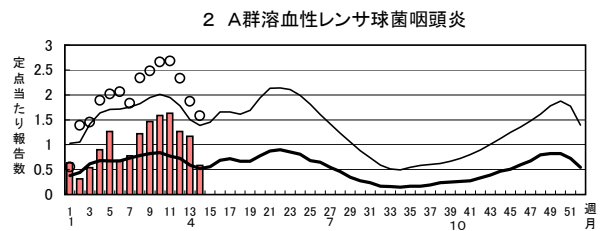
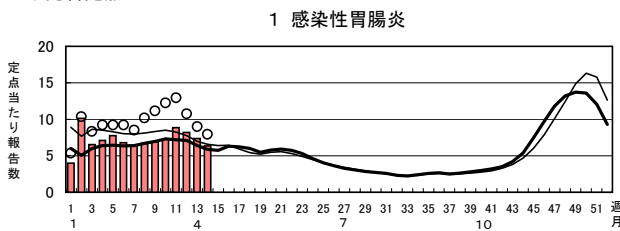
## 2 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

週	報告数(例)
第10週	203
第11週	109
第12週	64
第13週	47
第14週	16
累積報告数 (第40週以降)	4227

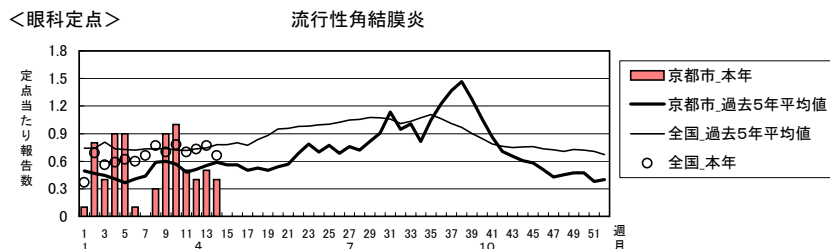


## 3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



# 今週(第14週)のトピックス:<百日咳>

今週の報告は1例(10~14歳)です。本年(平成20年)の累積報告数は13例となっており、平成12年から19年の同時期までと比較して最も多くなっています。全国でも同様の傾向です。

また、昨年(平成19年)の年報告数は、平成12年から18年と比べ、平成12年に次いで多くなっています。

年齢群別に構成割合をみると、平成12年~18年、平成19年では、「6ヶ月~11ヶ月」の割合が最も多く、「0歳」が約半数を占めていますが、本年は各年齢層に報告がばらついており、20歳以上の割合がやや増加しています。

全国でも、近年、小児科定点からの報告にもかかわらず、20歳以上の報告割合が増加しています。

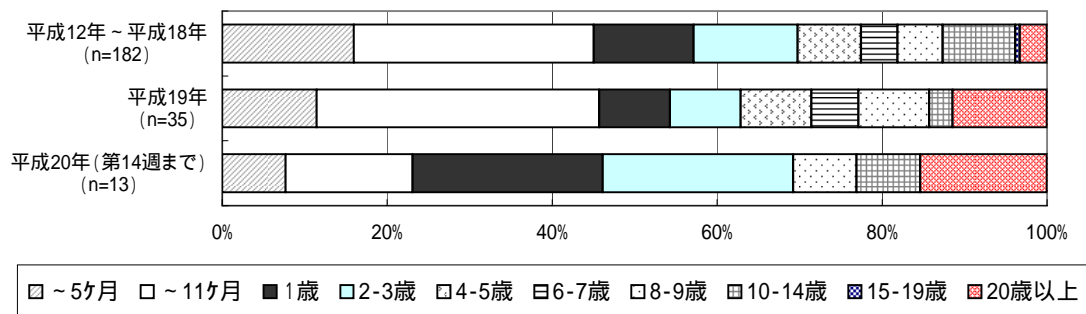
成人の発生例では、比較的長期にわたり咳が持続するものの、乳幼児にみられるような重篤な痙咳性の咳嗽はまれであり症状が典型的でないため、感染源となり、周囲に感染が広がる可能性もありますので、注意が必要です。

都道府県別に本年の累積報告数をみると、地域によりかたよりが大きく、昨年に引き続き、千葉県での報告数(177例)が顕著に多く、次いで福岡県(80例)、大阪府(73例)の順に多くなっています。

年別定点当たり報告数

		京都市				(参考) 全国
		報告数		定点当たり報告数		
		年間	累積報告数 (第1~14週)	年間	累積報告数 (第1~14週)	
2000	H12	39	3	0.95	0.07	1.28
2001	H13	22	1	0.54	0.02	0.58
2002	H14	22	7	0.54	0.17	0.48
2003	H15	19	6	0.46	0.15	0.51
2004	H16	32	4	0.78	0.10	0.73
2005	H17	17	2	0.41	0.05	0.44
2006	H18	31	4	0.76	0.10	0.50
2007	H19	35	8	0.85	0.20	0.97
2008	H20		13		0.32	

年齢群別構成割合の比較



都道府県別累積報告数(平成20年第1週~第14週まで)

